

# 原発の重大事故

## 対応巡り質問書

7月15日  
朝日新聞

糸島市に市民団体

糸島市の市民グループ

「脱原発！いとしまネット  
ワーク」（岡部寛喜代表）  
が14日、九州電力玄海原発  
で重大事故が起きた際の対  
応などについて、質問書を  
市に提出した。

同市では同原発から30<sup>キロ</sup>  
圏の緊急時防護措置準備区  
域（UPZ）内に約1万5  
千人が生活。市は事故に備  
えて原子力災害広域避難計  
画を決定。現在、住民の具  
体的な避難経路などを策定  
中だ。

質問書は、30<sup>キロ</sup>圏内の地  
元自治体として玄海原発再  
稼働に合意するのか▽除染  
の実施場所や要員、機材の  
確保について▽避難経路や

要援護者の受け入れ施設・  
マンパワー・移動手段をど  
う確保するか▽九電と直接  
の安全協定が必要ではない  
か——など8項目。8月14  
日までに文書回答するよう  
求めている。  
（鳥居達也）



# 反原発団体が 糸島市に質問書

7月15日毎日新聞

原発再稼動に反対の  
市民でつくる「脱原発  
！いとしまネットワー  
ク」（岡部寛喜代表）  
が14日、糸島市に対し  
九州電力玄海原発（佐  
賀県玄海町）での事故  
発生時の避難態勢など  
に関する質問書を提出  
した。

質問書は、玄海原発  
から30<sup>キ</sup>圏内の市民の

避難先は不十分とし、  
重大事故発生時の避難  
誘導、要支援者の移動  
手段の確保など8項目  
を質問している。8月  
14日までの回答を求め  
ている。【竹田定倫】



7月16日

# 玄海原発再稼働 糸島市に質問状

## 脱原発団体

脱原発運動に賛同する糸島市の団体・個人でつくる「脱原発！いとしまネットワーク」(岡部寛喜代表)

が14日、糸島市役所を訪れ、九州電力玄海原発(佐賀県玄海町)の再稼働にかかわ

る質問状を提出した。

今年5月、福井地裁で関西電力大飯原発(福井県)の再稼働を差し止める判決が出たことに対する市の考え方や、重大事故発生時の対応をまとめた市の原子力災害対策など8項目について質問した。

市は、8月14日までに回答するとしている。



出した。

同ネットワークは、福岡、佐賀、長崎の3県は今年4月、玄海原発の重大事故に対する半径30<sup>キロ</sup>範囲内の自動車による避難シミュレーションを発表するなど再稼働への動きが強まっているとして、質問状を出した。

質問は①糸島市は原発について、どう考えるか②再稼働に関し地元自治体の合意が求められるが、市はどう対応するのか③玄海原発の重大事故発生に対する糸島市の体制は—など8項目となっている。

## 九電玄海原発で質問

脱原発団体が市に

脱原発！いとしまね

ットワーク（岡部寛喜

代表）の岡部代表らは14日、糸島市役所を訪れ、九電玄海原発の再稼働に関する月形祐二市長あての質問状を提